

## 『『将来の夢』を国際理解につなげる “What do you want to be?” の実践』

E-mail: itou.keiiti@indigo.plala.or.jp 黒部市立桜井小学校 伊東 啓一

○活動のトピック : Hi, friends!2 Lesson8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう (導入として: 1/4時)  
<本時の展開>

時間	指導過程	教師の働きかけ	児童の活動	留意点
3	①「将来の夢」の 問いかけ	・今、「将来の夢」があるかどうかを問いかける。	・「夢があるかないか」「具体的にどんな夢があるか」等話を話す。	・現時点で夢が無かったり、迷ったりしていても構わないことを伝え、今後の活動に安心して取り組めるようにする。
5	②「職業」の英語表現の提示・練習	・「将来の夢」とつなげて、職業の英語表現についてカードを提示しながら教える。	・教師 (またはALT) の後に続けて発音練習をする。	
5	③国旗・ランキングの提示	・6つの国 (日本、韓国、中国、アメリカ、イギリス、フィンランド) の国旗を提示し、位置を地図で確認する。 ・各国 (「Country A」～「Country F」) のランキングの内容 (男女別の「なりたい職業ベスト3」) を確認する。	・国の英語表現を確認する。 (「Hi, friends! 2: Lesson5」でいくつかの国名は学習済) ・各国のランキングの内容を知る。 ・職業の英語表現の確認、発音をする。	
10	④国の予想・意見交換	・ワークシートを配布し、ランキングを見ながら国名を予想するよう問いかける。 ・「個人」→「ペア」→「グループ」の順に、まず自分の意見を持ち、その後、理由を含めて意見を紹介し合うようにする。 ※ペアやグループでは、互いの考えを無理に一致させるのではなく、伝え合い、多様な考えを知ることが大切であることを確認する。	・ランキングを見て、国を予想し、ワークシートの国旗と表を線で結ぶ。 ・ペアの相手、その後グループのメンバーに自分の意見とそう考えた理由を紹介する。そして、互いの意見やそう考えた理由を知る。	・正解することよりも、まず自分なりの予想、意見をもつことが大切であることを確認する。
17	⑤答えの確認・文化的背景の説明	・答えの確認をする。 ・「①アメリカ」→「②イギリス」→「③フィンランド」→「④日本」の順で、まず4か国の答えを確認していくようにする。(比較的、考えやすいものから答えを確認していく) ※ <u>答えの確認の際には、スライドを提示しながら進め、ランキングから分かるその国の文化的背景を伝える。</u> ・残った「中国」「韓国」は、2択で全員に問う。 ・最後に、ランキングから分かる共通点を問う。	・答えの正誤を確認していく。 ・意見を発表するときには、なぜそう考えたか理由も合わせて発表する。 ・ランキングから分かる各国の文化的背景の説明を聞く。 ・残りの2つの国のランキングについて、「中国」「韓国」のものを再度考える。 ・ランキングから分かる各国の共通点を考える。→ (女子は教員になりたい子供が多い。)	・最初の2か国 (アメリカ・イギリス) については、挙手で全員の書いた答えを確認したり、最後の「中国」「韓国」については2択で全員に問いかけたりして、全員参加の場面を適宜設けるようにする。
5	⑥今日の振り返りと今後の学習予定の提示	・今日の学習を振り返って気付いたこと、感じたことを問いかける。 ・次々以降は、自分の「将来の夢」について考え、友達に伝えたり、友達に尋ねたりする学習をしていくことを伝える。	・今日の学習を振り返っての気付き、感想等を発表する。 ・今後の学習への見通しをもつ。	